

Regeo

PZ-1023

ワンセグチューナー内蔵9.3インチポータブルナビゲーション

取扱説明書



この度は、本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本書（取扱説明書）をよくお読みの上、正しい接続・取付・使用方法でお
使ってください。
お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みくだ
さい。

保証書別添付

保証書は、「お買い上げ日」・「販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

<販売店様へ>

接続、取付作業が完了しましたら、本書はお客様へお渡しください。

目次

はじめにお読みください

安全上のご注意 (必ずお守りください) ……	1	TV (ワンセグ) ソース ……	20
使用上のご注意 (必ずお守りください) ……	4	Musicソース (SDミュージック) ……	25
商品構成一覧表 ……	7	Movieソース (SDビデオ) ……	27
各部の名称と働き・機能説明 ……	8	各種情報・設定 ……	29
取り付け ……	10	DUAL MAP (2画面) ……	34
電源の入れ方・切り方 ……	16	別売品について ……	35
microSDカードの挿入・取り出し ……	17	トラブルシューティング ……	45
メインメニュー ……	18	本機で使用できるメディアについて ……	46
AVソース ……	19	仕様 ……	48

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なる場合があります。
- 接続、設置、配線等のイラストはイメージとなります。
- 各画面画像やビジュアルはハメコミ画面合成であり、仕様等は実際の製品と異なる場合があります。
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。

免責事項について

- お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、そのほかの不具合またはこの製品の仕様によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の注意事項をよくお読みの上、取り付けおよびご使用ください。
- 本機の故障や使用による損害また録画データの破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 車両のバッテリー上がりについて、弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSDカードの取扱には十分注意して、注意事項をよくお読みの上、使用してください。
- 付属品以外の機器やケーブル類を使用した場合による、本機の故障や動作異常について、弊社は一切の責任を負いかねます。

安全上のご注意(必ずお守りください)

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

お守りいただく内容種別を次のイラスト表示で区分し、説明しています。

	警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
	注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
	禁止	絶対にしてはいけない事項
	強制	必ず守るべき事項

必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する

-  規定容量を超えるヒューズを使用すると火災や発煙・発火、故障の原因になります。
ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。(ヒューズ:2A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には、絶対に取り付けない

-  運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

-  ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用すると取り付けると、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作をしない、また画像・表示を注視しない

-  走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

-  車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

-  ステアリングシフトレバーブレーキペダルなどに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等、配線処理をしてください。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

- ❗ 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12-24Vマイナスアース車で使用する

- ⚠ DC12-24Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

- ❌ 煙がでる、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因になります。
- 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない

- ❌ 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。
- 内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

ステーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

- ❌ あやまって、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない

- ❗ 内部に金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

使用しないコードの先端などは、絶縁処理する

- ❗ 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子  を外しておく

- ❗ バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

指示に従って正しく配線・取り付けを行う

- ❗ 取扱説明書に従って正しく配線・取り付けしないと火災や事故の原因になります。

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

- ❗ 取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車載用以外には使用しない

-  車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドア等)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

強い衝撃を与えない

-  落下させる、叩くなどで衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない

-  ショートや断線により、発火や故障の原因になることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

-  指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けけない

-  直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になる事があります。

水のかかる場所や湿気、ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない

-  雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けけない

-  強い曲面等に取り付けると、走行中に外れる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止

-  車載用以外には使用しない、強い衝撃を与えない、雷が鳴り出したらシガー電源アダプターには触れないでください。感電の原因になることがあります。

本機の通風孔を塞がない

-  本機内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

取付中はエンジンを切る

-  本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがONの状態で行うと、感電及び故障の原因になります。

磁気性があるものに近づけない

-  本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

使用上のご注意(必ずお守りください)

取扱上のお願

- 本機の使用による交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけてください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故などの損害は、一切の責任を負いかねます。
- 本機を運転の支障をきたす場所や同乗者に危険を及ぼす場所に置いたり、取り付けをしないでください。
- 走行中は、運転者による操作や画面の注視は行わないでください。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所へ停車してください。運転者の画面注視は法律で禁じられています。
- 長時間連続動作をさせた場合、本機の一部が温かくなる場合があります。長時間皮膚に接触すると低温やけどの原因となる場合がありますので、ご注意ください。
- 直射日光の当たる場所や極端な高温・低温・多湿になるような環境下に長時間放置しないでください。
- 本機へ無理な力がかかると液晶画面や内部基板等が破損し、故障の原因となりますので、持ち運ぶ際はご注意ください。
- 強く押したり、叩くなど故意に強い衝撃を本体及び液晶画面に与えないでください。傷の発生や破損、故障の原因となります。
- 液晶画面へのタッチ操作は、先の尖った鋭利なペンや棒などのご使用はおやめください。
- 目を刺激するような大きな音量で長時間視聴しますと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 本機は車載機器専用となります。
- 本機を船舶・航空機などの主航行機器として使用しないでください。
- 本機を登山用地図として使用しないでください。
- 本機は二輪車での使用環境を想定していませんので、二輪車でのご使用はおやめください。
- 本機は日本国内仕様となります。海外ではご使用にならないでください。
- 市販のFMトランスミッターなどを接続した場合、本機にノイズが入る場合があります。
- ドライブレコーダー等を近づけた場合、本機にノイズが入る場合があります。
- 本機は精密電子機器となりますので、分解や改造は絶対にしないでください。
- 本機は防滴構造ではありません。
- GPSとは、「Global Positioning System」の略称です。アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。
- トンネル内やビル群、山間部等では、GPSの電波を受信できなくなる場合があります。また、衛星の受信状態などにより、約50m～100m程度の測定誤差が出る場合があります。
- 自車位置はGPSの受信で測位されます。GPSが受信できない場所では、完全な自車位置の測位を行うことはできません。
- ナビゲーションの案内が交通規則にそぐわなかったり、実際には走行できないルートを案内する場合があります。また、道路形状などによりルート案内が実際の走行と異なる場合があります。実際の走行時は、道路標識や通行制限など必ず交通規則に従って運転してください。
※ナビゲーションの詳細は、別冊の取扱説明書をご参照ください。
- 大型車で使用する場合、設定したルートが大型車に適した道幅や高さ制限を考慮していないため、実際の走行に適していないルートを案内する場合がありますので、ご注意ください。
※ナビゲーションの詳細は、別冊の取扱説明書をご参照ください。
- GPSは地理的要因により、受信しにくい場合があります。
- 一部の車種に採用されている金属コーティングの耐熱ガラスの中には、電波の透過率が低く、GPS受信できず本機が正常に動作しない場合があります。また、テレビ放送の受信感度が悪くなる場合があります。
- トンネルや地下、ビルの陰などの環境下ではテレビ受信できない場合があります。また受信エリアであっても受信状態が不安定な場所では、映像や音声が入信できない場合があります。
- 本機のGPSは本体に内蔵されているため、本体には塗装やシール貼付等しないでください。GPS性能が落ち、十分な性能を発揮しなくなります。

使用上のご注意(必ずお守りください)



取扱上のお願

- 車両のフロントウィンドウガラスにコーティング剤または特殊加工が施されている場合は、GPS受信に影響が出る可能性やGPSが受信できない可能性があります。
- 本体は各車載機器(※1)および各アンテナ(※2)からなるべく離れた位置に設置してください。車載機器やアンテナ類の近くに取り付けると、GPSが正常に機能せず、電波を受信しなくなったり、本機もしくは各車載器が誤動作を起こす原因となる場合があります。そのような場合、各車載器から離して、GPS衛星の受信に影響のない場所へ設置してください。
 - ※1 ナビゲーション本体、ETC車載器、地デジチューナー、ビーコンユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機など
 - ※2 TVアンテナ、ETCアンテナなど
- GPSの受信環境により、起動時間が長くなったり、GPS受信までに時間がかかる場合があります。また、まれにGPS受信が長時間に渡ってできない場合があります。
- 最後に電源オフしてからの自車位置と次に電源オンした地点が離れていた場合、GPS受信までに時間がかかる場合があります。
- 車両の各種センサー装置(安全運転支援装置、各種レーダー等)や衝突回避支援システム(カメラ)などを搭載した車両に設置すると、位置によっては衝突回避支援システムからのノイズに干渉し、GPSが測位しづらくなる場合があります。
- ナビゲーション本体や地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器から漏れた電波により、GPSを受信できない場合があります。

使用上のご注意(必ずお守りください)

⚠ ナビゲーションの取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準(※)に適合させるため、下図イラストのように運転者の視界を妨げないように取り付けてください。また、フロントガラスおよび側面ガラス(運転席の左右)への取り付けは保安基準第29条に不適合となりますので、絶対におやめください。

※道路運送車両の保安基準 第21条(運転者席)、道路運送車両の保安基準 第44条(後写鏡等)

※最新の保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください

前方視界について

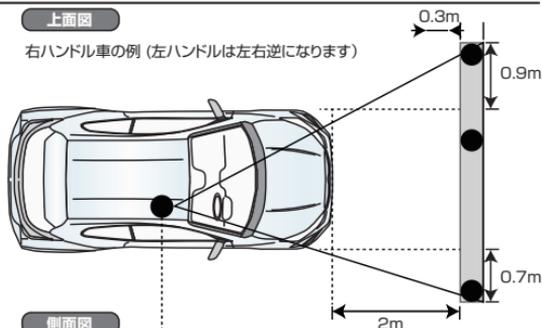
基準概要

自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱(6歳児を模したもの)を鏡などを用いず直接確認出来ること。

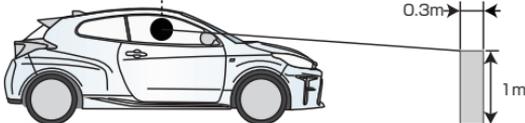
- 運転視界基準エリア
- 高さ1m、直径0.3mの円柱

上面図

右ハンドル車の例(左ハンドルは左右逆になります)



側面図

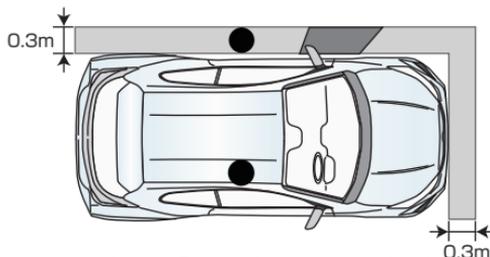


直前直左視界について

基準概要

自動車の前面及び左側面(左ハンドル車にあっては右側面)に接する高さ1m、直径0.3mの円柱(6歳児を模したもの)を直接に又は鏡、画像等により間接に視認できること

- 運転視界基準エリア
- 高さ1m、直径0.3mの円柱
- 適応外エリア
Aピラーまたは室外後写鏡により視界が妨げられるエリア



右ハンドル車の例(左ハンドルは左右逆になります)

商品構成一覧表

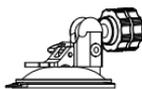
本機を使用する前に、必ず同梱物を確認して下さい。

同梱物

■ 本体



■ 吸盤スタンド



■ 吸盤プレート (3M製粘着シート付)



■ シガー電源アダプター(約1.5m)



■ ケーブルランパー (3個)



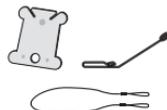
■ クッション材



■ クリーニングクロス



■ 脱落防止ストラップ



■ 取扱説明書(本体&ナビ)



■ 保証書



⚠ 使用上のご注意

1 シガー電源アダプターについて

- 付属のシガー電源アダプターは、車両のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤動作の原因になることがあります。
- 長時間本機を使用しない場合、シガー電源アダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。

2 吸盤スタンドの使用について

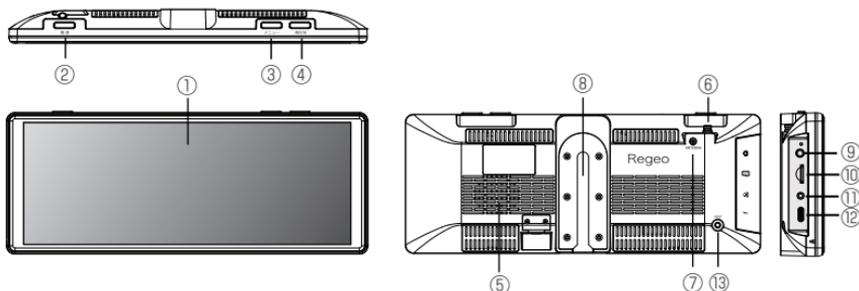
- 吸盤スタンド(取付用シート)は、運転に支障をきたさない位置またはエアバッグなどの安全装置の動きを妨げない位置にお取り付けください。また、取り付けの際は取り付けようとする箇所の強度が十分に確保されているかを必ず確認してください。
- 吸盤スタンド(取付用シート)は、ほかの器具と組み合わせでのご使用はおやめください。脱落や落下する恐れがあります。

3 液晶保護フィルムについて

- ご購入時、液晶画面に保護フィルムが貼付されていますので、剥がしてからご使用ください。

各部の名称と働き・機能説明

本体



- ① **タッチパネル(液晶ディスプレイ)**
- ② **電源ボタン**
長押しすると、本機の電源ON/OFFすることができます。
- ③ **メニューボタン**
短押しすると、メインメニューを表示します。
長押しすると、ディスプレイオフ(画面消し)します。
- ④ **現在地ボタン**
現在地画面を表示します。
- ⑤ **スピーカー**
- ⑥ **ワンセグ用ロッドアンテナ(×1)**
テレビを見るときに伸ばして使用します。
- ⑦ **テレビ用フィルムアンテナ接続端子**
別売品のフィルムアンテナを接続します。
- ⑧ **スタンドスライドレール**
吸盤スタンドを取り付けます。
- ⑨ **ヘッドフォン端子(φ3.5)**
市販のヘッドフォンを接続することができます。
- ⑩ **microSDカード挿入口**
市販のmicroSDカードを挿入します。
- ⑪ **バックカメラ端子(φ2.5)**
バックカメラを接続する際、別売品の専用変換コネクタを接続します。
- ⑫ **シガー電源アダプター接続端子(USB-C)**
付属のシガー電源アダプターを接続します。
- ⑬ **リセットボタン**
本機をリセットすることができます。

各部の名称と働き・機能説明

⚠ 注意

- 付属されているシガー電源アダプター以外は絶対に使用しないでください。正常に動作しなくなったり、故障の原因となります。
- 本機とパソコンの接続は、本体の内蔵メモリが破損する可能性がありますので、行わないでください。
- microSD カードを挿入する場合は、挿入する向きにご注意ください。
- microSD カード以外のものは挿入しないでください。金属類や燃えやすいものなどを挿入すると火災・感電の原因となります。
- 本機の電源がオンの状態で microSD カードやを挿入しないでください。故障や誤動作の原因となります。
- 各メディア再生中に microSD カードを挿入しないでください。故障や誤動作の原因となります。
- 本機はすべての microSD カードの動作を保証するものではありません。
- microSD カード内の大切なデータはバックアップを取ることをお勧めします。microSD カード内のデータ消失およびそのほかの損害が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ボールペンやシャープペンシルなどでタッチパネルに触れると傷ついたり、正しく動作しない場合がありますので、おやめください。
- タッチパネルや外周枠を強く押さないでください。強い圧力をかけると液晶の劣化や故障の原因となります。お手入れの際は、十分に注意してください。
- 液晶を固い布や強い力で拭かないでください。液晶の劣化とタッチパネルを傷つける原因となります。
- 極端に温度の高い場所と低い場所に本機を放置すると、液晶の劣化や故障の原因となります。
- 周囲の温度が高温、低温時には液晶表示が見にくくなったり、反応が鈍くなったりします。これはタッチパネルの特性によるものであり、故障ではありません。
- 液晶のお手入れは付属のクリーニングクロスを使用し、画面を軽く拭いてください。
- タッチパネル部分が破損した場合は、パネル部分には絶対に触れないでください。

📄 メモ

- ・ ヘッドフォンが接続されている場合、本体から音声は出力されません。

取り付け

取り付けの前に

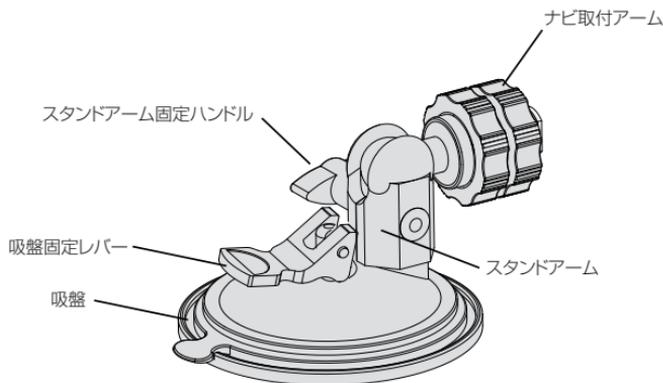
- エアバッグが装着されている車に取り付ける場合、絶対にエアバッグの作動を妨げる場所には設置しないでください。
※お買い上げの販売店または専門業者にご相談の上、取り付け場所を決めることをお勧めします
- 吸盤スタンドならびに取付用シートの設置場所は、ダッシュボード上が平らな場所を選んで設置してください。
- 吸盤スタンドをダッシュボード上に置いた際、吸盤の外周がダッシュボードと均等に密着し、隙間がないことを確認して取り付けしてください。

取り付け時のご注意

- 吸盤スタンドを取り付ける際、ナビゲーション本体がGPS衛星やフルセグ受信ができるかを確認して設置してください。
- 付属品の吸盤スタンドおよび取付用シートをご使用ください。
- フロントガラスには絶対に取り付けしないでください。
- 吸盤スタンドや取付用シートの貼り付け場所は、必ず付属のクリーナークロスできれいに拭き、ほこりや油分などを取り除き、乾いた状態で貼り付けてください。
※車種によっては、クリーナークロスでダッシュボードが変色する場合がありますので、あらかじめ目立たない部分で試してからご使用ください。
- 取付用シートは貼り直しすると粘着力が低下しますので、おやめください。
- 運転前に吸盤が確実に吸着していることを確認してください。

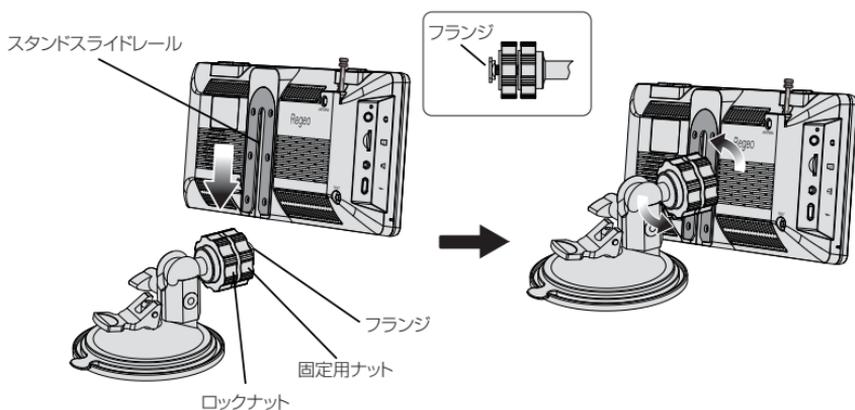
吸盤スタンドの取り付け

1. それぞれの固定ハンドルを緩め、ナビ取付アーム部の上下位置（角度）を調整し、固定ハンドルを締めて固定をします。



取り付け

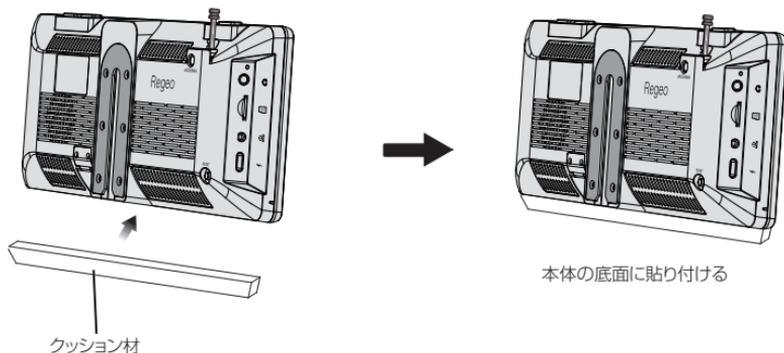
2. 本体裏面のスタンドスライドレールにフランジを合わせてスライドさせます。
固定用ナットを締めた後、ロックナットを締めて固定します。



2. ダッシュボード上の見やすい位置に取り付けます。
※取り付け位置が決まったら、一度吸盤スタンドから本体を外してください

クッション材を使用する

振動によるグラつきやダッシュボードへの傷を防ぐため、本体の底面に付属されているクッション材を貼り付けてください。
クッション材がダッシュボードにあたるように調整してください。



取り付け

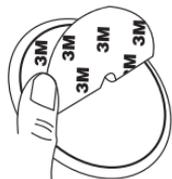
取付用シートを貼り付ける

ダッシュボードの材質や表面の状態によって、吸盤の吸着力が十分得られないことがあります。その場合、必ず付属の取付シートをご使用ください。

取付用シートを貼り付ける前に

- ・取付用シートの貼り付けは一度のみです。貼り直しはできませんので、慎重に作業を行なってください。
- ・取付用シートを貼り付ける場所をクリーナークロスできれいに拭いてください。
- ・空気が入らないように端から貼って、強く押し付けてください。
- ・気温が低い場合（20℃以下）は、粘着力が低下しますので、車内ヒーターで車内温度を上げてから貼り付けてください。
- ・貼り付け後、粘着力を高めるため、24時間は取付用シートのみ状態で放置してください。

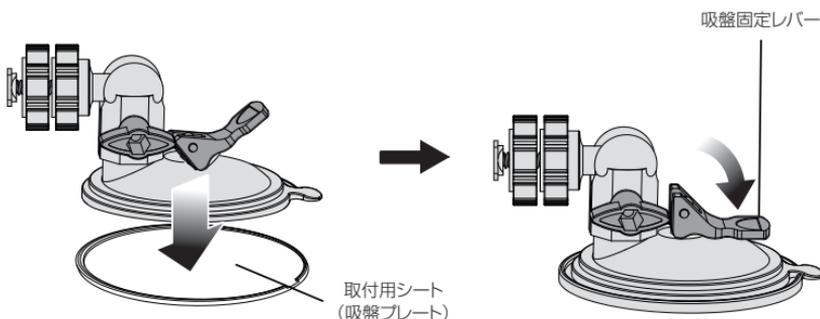
1. 取付用シートのはくり紙をはがします。



2. 設置場所をクリーナークロスできれいに拭き、乾燥されている状態で取付用シートを貼り付けます。

取付用シートに吸盤スタンドを取り付ける

1. 吸盤面についている吸盤スタンド保護シートをはがして、取付用シートに強く押し付けながら貼り付け、吸盤固定レバーを倒し吸着させます。



取り付け

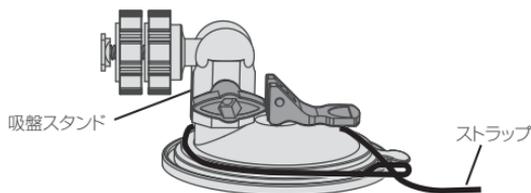
脱落防止ストラップの使い方

本機を安全にご使用いただくために、必ず本製品が脱落しないように車両と本体をストラップで繋いでいただき、脱落防止をおこなってください。

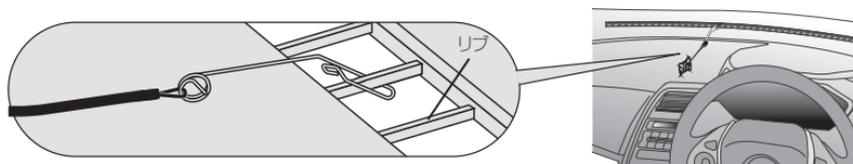
- 1.フックが丸くなっている部分へストラップを通し、結んで取り付ける



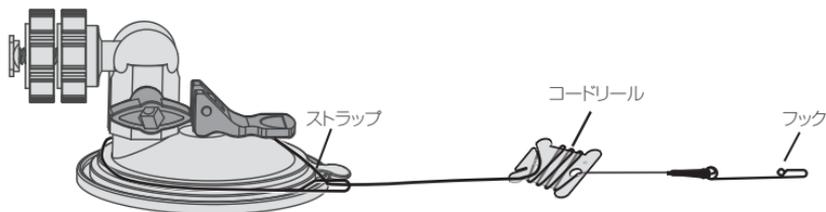
- 2.専用スタンドの隙間にストラップを通し結んで取り付ける



- 3.フックを車両のデフロスタ(フロント部分のエアコン送風口)のリブ部へ取り付け



- 4.スタンドの位置を固定して、余ったストラップをコードリールに巻きつけて緩まないように長さを調整する



取り付け

吸盤スタンドへ本体を取り付ける

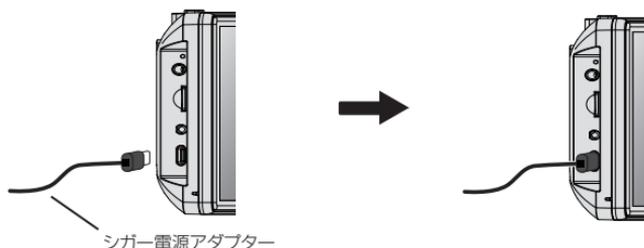
1. 本体裏面のスタンドスライドレールにフランジを合わせてスライドさせます。
固定用ナットを締めた後、ロックナットを締めて固定します。

本体を取り付ける時は

- ・吸盤スタンドのアーム固定ハンドルをしっかりと締めてください。
- ・固定が弱いと走行中、車の振動等により固定ハンドルが緩み、本体の取付角度が変わる恐れがあります。

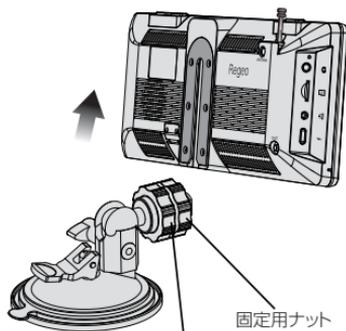
シガー電源アダプターを本体に取り付ける

1. 付属のシガー電源アダプターを接続端子へ差し込みます。



本体の取り外し方

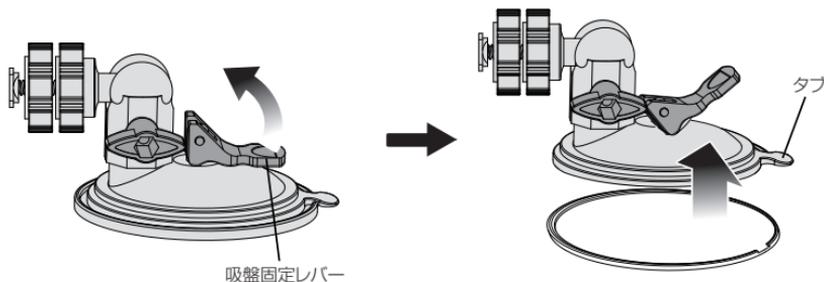
1. ロックナットを緩めた後、固定用ナットを緩めて本体を上方向にスライドさせます。



取り付け

本体の取り外し方

1. 吸盤固定レバーを上げ、タブ（吸盤のつまみ）を利用し、ゆっくりと慎重に取り外しをします。



⚠ 注意

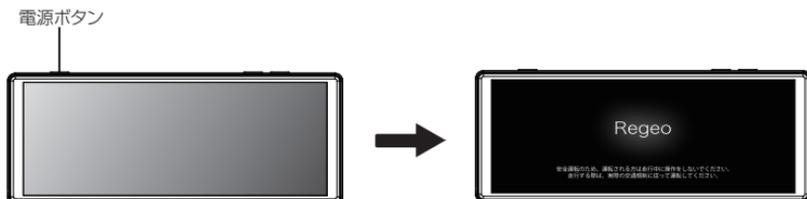
- 本機は道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくダッシュボードへ取り付けてください。
- 取り付けに関しては、「使用上のご注意」をよくお読みの上、取り付けを行ってください。
- 運転に支障となる場所には取り付けしないでください。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には、絶対に取り付けをしないでください。事故の際、安全装置が働かず、怪我の原因となります。
- 一度取り外した取付用シートは粘着力が低下します。再度の使用はおやめください。本機が落下して怪我の原因となります。また、無理に剥がしますと、車のダッシュボードに損傷を与える場合がありますので、ご注意ください。
- 吸盤スタンドによる高さや角度調整時、ハンドルを確実に締めてください。
- 取り付けの際は、必ず付属されている部品で取り付けてください。他の器具や部品を使うと、脱落や落下、破損する恐れがあります。
- 本機は自動車専用用品となりますので、自動車以外には使用しないでください。
- 高温・低温時は吸盤の吸着力が低下します。車内が適温になってから作業を行なってください。
- 取り付け・取り外しは、無理な力で押ししたり、引っ張ったりしないでください。破損の原因となります。
- ダッシュボードに取り付けた状態で長期間放置すると、吸着力が低下し、脱落する場合があります。運転時には取り付け状態を確認してください。
- 本機の取り付け・取り外しにおいて、本機およびダッシュボードやそのほかの箇所に対し、変形や損害が生じても弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

電源の入れ方・切り方

電源の入れ方(電源オン)

以下のいずれかの方法で電源を入れることができます。

- シガー電源アダプターが接続されている状態で車のエンジンをONにする (ACC ON)
- 電源ボタンを長押しする



電源がオンになると、オープニング画面が表示されてから、AV画面もしくは地図画面が表示されます。

電源の切り方(電源オフ)

以下のいずれかの方法で電源を切ることができます。

- 車のエンジンをOFFにする(ACC OFF)
- 電源ボタンを長押しする

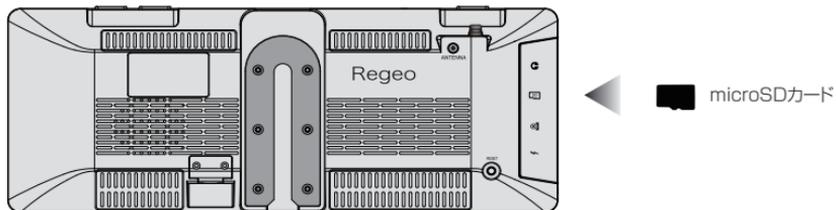
メモ

- ・電源をオンにした直後にACC OFF操作で電源がオフになった場合、すぐに電源オフされない場合があります。これは、本体の過電流・逆電流を防止するため電源保護回路の動きによるものであり、故障ではありません。
- ・車のエンジンオフなどでシガー電源アダプターからの通電がなくなると、自動的に電源が切れ、再び通電されると電源が入ります。
- ・本機の電源をオフにしてからすぐに電源ボタンの長押しをしても電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。

microSDカードの挿入・取り出し

microSDカードの入れ方/取り出し方

1. microSDカードスロットにカードを奥までゆっくりと差し込みます。
2. 「カチッ」と音がするまで差し込みます。



<取り外す場合>

取り外す際は、microSDカードを一度奥に押し込んでから、ゆっくりと真っ直ぐに引き抜いてください。

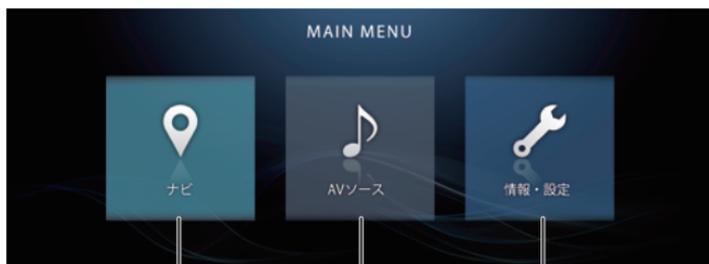
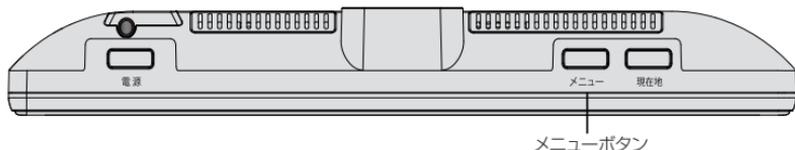
⚠注意

- microSD を押し込んだ後で指をすぐに離さないでください。強く押し込んだ状態で指を離すと、カード類が飛び出す恐れがあり、破損や紛失の原因となります。
- 万が一、カード類が取り出せなくなった場合、無理に取り出さず、サポートセンターへお問い合わせください。

メインメニュー

メインメニューについて

本体メニューボタンを押下すると、メインメニュー画面が表示されます。
メインメニューに切り替えることで、ナビゲーションや各ソース(DTVやSDメディア)、設定画面にアクセスすることができます。



ナビボタン

AVソースボタン

情報・設定ボタン

- | | | |
|-----------------|------|---------------------------------|
| ナビボタン | ---- | 地図画面を表示します。 |
| AVソースボタン | ---- | AVソースを切り替える画面を表示します。 |
| 情報・設定ボタン | ---- | 画面や音量設定、バージョン情報表示などを行う画面を表示します。 |

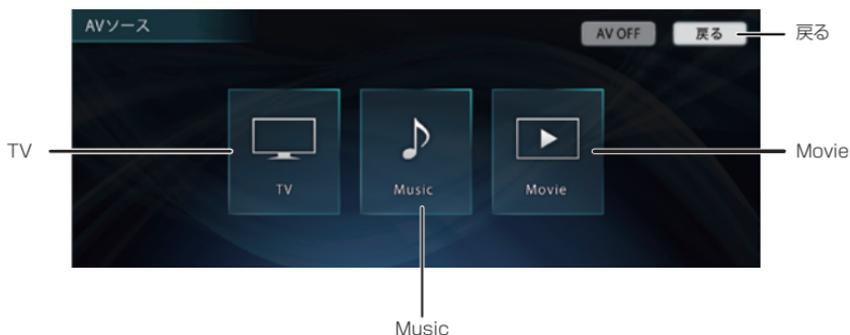
メモ

・ナビゲーションについての詳細は、別冊のナビゲーション取扱説明書をご覧ください。

AVソース

AVソース選択画面について

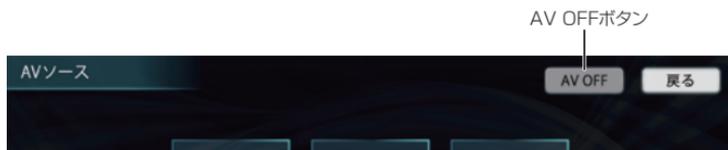
メインメニューの[AVソース]を選択すると、以下のようにAVソース選択画面が表示されます。



- | | | |
|-----------------|------|-----------------------|
| TVボタン | ---- | テレビソース画面に切り替えます。 |
| Musicボタン | ---- | SDミュージックソース画面に切り替えます。 |
| Movieボタン | ---- | SDムービーソース画面に切り替えます。 |
| 戻るボタン | ---- | 一つ前の画面に切り替えます。 |

AVソースオフにする

AVソースをオフにする場合は、AVソース画面のAV OFFをタッチします。
AVソースをオンにする場合は、AVソース画面でいずれかのソースをタッチします。



TV(ワンセグ)ソース

TVソースについて

本機はワンセグチューナーが内蔵されていますので、ワンセグ放送の視聴をすることができます。

TVソース画面

| ボタン説明



ボタン	機能説明
ソース	AVソース選択画面に切り替えます。
プリセット	スキャン後に放送局がプリセットされます。 プリセットボタンをタッチすると、放送局を切り替えることができます。
UP/DOWN	前または次のプリセットされた放送局に切り替えます。
番組表	番組表を表示します。
スキャン	受信可能な放送局を検索し、受信可能な放送局をプリセットに登録します(工場出荷後はスキャンを必ず行なってください)。
放送局サーチ	ONにすると、受信感度が低下した際、自動的に受信可能な放送局(中継局)を探ることができます。
ボリューム	音量を切り替えることができます。
MUTE	音声をミュート(消音)にします。 ※エンジンON/OFFでは解除されません

TV(ワンセグ)ソース

ボタン	機能説明
リスト 設定 画面	プリセットされているチャンネルリスト画面に切り替わります。 TVソースの各種設定画面に切り替わります。 画面をタッチすると、映像画面に切り替わります。

| 表示説明



ボタン	機能説明
時計	時計を表示します。
アンテナ強度	ワンセグの受信感度をアンテナ表示します。
プリセット番号/受信チャンネル	プリセット番号と受信(3桁)チャンネル番号を表示します。
放送局名	放送局名を表示します。
字幕種別	字幕の種類を表示します。 ※字幕を選択している場合、字幕の種別番号を表示します(番組依存)

TV(ワンセグ)ソース

チャンネルリスト画面



ボタン	機能説明
リスト	リストを選択すると、選択された放送局に切り替えます。 ※スキャンを行ったエリアかつ受信可能な放送局をリスト表示します
戻る	一つ前の画面に戻ります。

テレビ

ワンセグの各種機能を設定することができます。



ボタン	機能説明
放送局サーチ設定	放送局サーチの自動切り替えのオン/オフを切り替えることができます。 ※オンにすると、受信状況が悪化した場合、自動的に受信可能な放送局を探します
音声・字幕設定	音声や字幕の設定を切り替えることができます。 ※番組依存となるため、設定しても切り替わらない場合があります
情報	バージョン情報を確認することができます。
テレビ設定リセット	テレビ設定を初期化することができます。
戻る	一つ前の画面に戻ります。

TV(ワンセグ)ソース

放送局プリセット(登録)する

初めてご使用になる場合や初期化した後は、放送局が登録されていないため、必ずスキャンを行ってください。スキャンを行うと、受信可能な放送局がプリセットに登録されます。



スキャンをタッチします



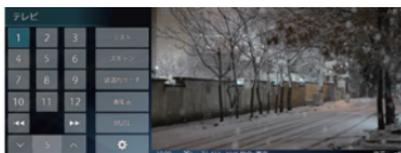
スキャン中画面に切り替わり、プリセットに放送局を登録します

⚠ 注意

- スキャンを行うと、プリセットされていた内容は消去されます。
- スキャンする環境やエリアによって、登録されるチャンネルは異なります。

番組表を見る

現在受信している放送局の番組表を表示することができます。



番組表をタッチします



番組表が表示され、番組リストをタッチすることで詳細情報を表示します

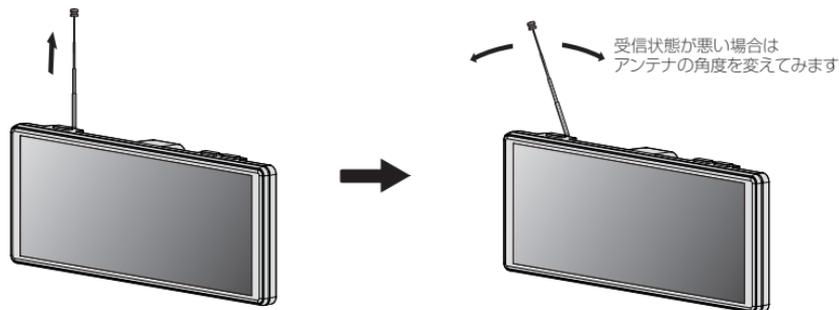
⚠ 注意

- 放送時間が過ぎている番組は表示しません。

TV(ワンセグ)ソース

ロッドアンテナについて

TV(ワンセグ)を視聴する際は、本体背面にあるロッドアンテナを引き伸ばしてください。



△注意

- 走行中の操作や画面注視は非常に危険であるため、おやめください。
- 初めてご使用になる場合や初期化後はスキャンを行ってください。
- 場所やエリア、環境等により、受信が安定しない場合があります。
- 受信が改善しない場合は、受信感度の良い場所に移動してください。
- スキャンは環境やエリアによって、数分かかる場合があります。
- スキャンを行なった後、受信ができない場合は、自車位置を別の場所に移動してから再度スキャンを行ってください。
- 特にビル群や山間部、高架下、遮蔽物がある等の環境下では受信しにくくなります。
- 受信できない放送局のチャンネルボタンをタッチしても切り替わらない場合があります。
- 受信感度により、映像や音声途切れる場合があります。
- 受信感度が低下した際、映像にブロックノイズが発生する場合があります。
- 番組の情報取得ができていない場合、番組表が表示できない(空欄)になる場合があります。
- 操作、視聴する際は車を安全な場所に停めて、サイドブレーキを引いた状態で行なってください。
- ロッドアンテナを引き出す時、無理な力で引っ張らないでください。アンテナが折れたり、曲ったりと破損、故障の原因となります。
- ロッドアンテナは最後まで確実に引き出してください。
- ロッドアンテナを目や顔に近づけないでください。アンテナの先端に接触して、事故や怪我の原因となる場合があります。
- ロッドアンテナを引き出して使用する際は、周囲に十分ご注意ください。

📝メモ

- ・ワンセグの受信感度を向上させたい場合は、別売品のテレビ用フィルムアンテナを別途お求めください。
→P.35参照

Musicソース(SDミュージック)

Musicソースについて

市販品のmicroSDカードに音楽ファイルをコピーして、本機で音楽再生することができます。

Musicソース画面

ボタン説明



ボタン	機能説明
ソース	AVソース選択画面に切り替えます
アートワーク	アートワーク表示します。 ※ファイルにアートワークが書き込まれている場合に限り表示します。
プログレスバー	再生時間をプログレスバーと分秒で表示します。
時計	時計を表示します。
PLAY/PAUSE	再生または一時停止をします。
DOWN	ファイルダウンをします。
UP	ファイルアップをします。
フォルダリスト	フォルダリストから再生したいファイルがあるフォルダを選択します。
ファイルリスト	ファイルリストを選択します。
ランダム	ランダム再生をします(ON/OFF)。
リピート	リピート再生をします(ALL/FILE/FOLDER)。
情報表示	ファイルの情報を表示します。 ※ファイルに各種タグ情報がある場合に限り表示します。
ボリューム	ボリューム調整をすることができます。

Musicソース(SDミュージック)

ボタン	機能説明
MUTE	再生音声をMUTE(消音)にすることができます。 ※エンジンON/OFFでは解除されません
TOP	フォルダのトップへ移動します。
一つ上	フォルダの階層を一つ上に移動します。

⚠ 注意

- リピートとランダムは同時に設定することはできません。

Movieソース(SDビデオ)

Movieソースについて

市販品のmicroSDカードに動画ファイルをコピーして、本機で動画再生することができます。

Movieソース画面

| ボタン説明



ボタン	機能説明
ソース	AVソース選択画面に切り替えます
映像	動画の映像を表示します。映像をタッチすると映像画面に切り替わります。
プログレスバー	再生時間をプログレスバーと分秒で表示します。
時計	時計を表示します。
PLAY/PAUSE	再生または一時停止をします。
DOWN	ファイルダウンをします。
UP	ファイルアップをします。
フォルダリスト	フォルダリストから再生したいファイルがあるフォルダを選択します。
ファイルリスト	ファイルリストを選択します。
ランダム	ランダム再生をします (ON/OFF)。
リピート	リピート再生をします (ALL/FILE/FOLDER)。
情報表示	ファイルの情報を表示します。 ※ファイルに各種タグ情報がある場合に限り調整することができます。
ボリューム	ボリューム調整をすることができます。

Movieソース(SDビデオ)

ボタン	機能説明
MUTE	再生音声をMUTE(消音)にすることができます。 ※エンジンON/OFFでは解除されません
TOP	フォルダのトップへ移動します。
一つ上	フォルダの階層を一つ上に移動します。

⚠ 注意

- リピートとランダムは同時に設定することはできません。

各種情報・設定

各種情報・設定画面

メインメニューの[情報・設定]を選択すると、以下のように情報・設定画面が表示されます。
本画面では、本機のシステムに関する設定を行うほか、情報を表示します。

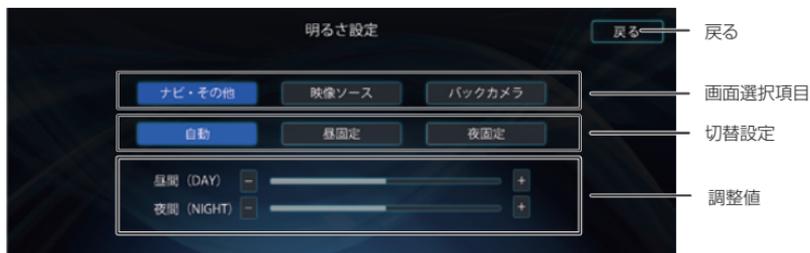


ボタン	機能説明
画面明るさ	ナビや映像、その他の画面の明るさを設定します。
音量	ナビガイダンス音量やAV消音設定、操作音を設定します。
バックカメラガイドライン	バックカメラのガイドラインを調整します。
GPS	GPSの測位情報を表示します。
バージョン	各ソフトウェアバージョンを表示します。
初期化	工場出荷状態に戻します。

各種情報・設定

画面明るさ

[ナビ・その他]、[映像ソース]、[バックカメラ]の各画面の明るさを設定します。



ボタン	機能説明
戻る	一つ前の画面へ戻ります。
画面選択項目	明るさを調整したい画面を選択します。
切替設定	昼夜それぞれの設定を自動的に切り替えます。 [自動(時刻連動)] 決められた時刻になると昼夜モードを自動的に切り替えます。 [昼固定] 昼間時の設定に固定します。 [夜固定] 夜間時の設定に固定します。
調整値	夜間時の設定に固定します。 +/-ボタンで明るさを調整します。 ※[昼固定]の場合、夜間(NIGHT)の調整はできません ※[夜固定]の場合、昼間(DAY)の調整はできません

メモ

・切替設定の自動(時刻連動)は、以下の時刻で昼夜切り替えを行います。

<4月~9月>

昼=6:00~18:00

夜=18:00~翌6:00

<10月~3月>

昼=7:00~17:00

夜=17:00~翌7:00

各種情報・設定

音量設定

「ナビガイドンス音量」、「AV消音」、「操作音」の音量に関する設定をします。



ボタン	機能説明
戻る	一つ前の画面へ戻ります。
ナビガイドンス音量調整	+/-ボタンでナビガイドンス音量を調整します。
AV消音	ナビガイドンス割り込み時にAV音声をMUTEするか選択します。 ※OFFの場合は、AV音声は設定された音量のままとなります 操作音を出力する・しないを設定します。
操作音	

バックカメラガイドライン

本機は、バックカメラ(別売品)を接続することができます。

本設定では、バックカメラに切り替えた時のガイドラインを調整することができます。



ボタン	機能説明
戻る	一つ前の画面へ戻ります。
調整ポイント	調整したいポイントを選択します。
調整十字ボタン	ガイドラインを調整します。
リセット	ガイドライン位置を初期状態に戻します。

各種情報・設定

GPS情報

GPSの測位情報を表示します。



ボタン	機能説明
戻る	一つ前の画面へ戻ります。
リセット	GPS測位をリセットします。 ※測位まで暫く時間がかかります

バージョン情報

本機のバージョン情報を表示します。



ボタン	機能説明
戻る	一つ前の画面へ戻ります。

各種情報・設定

工場出荷(初期化)

工場出荷状態に戻します。



ボタン	機能説明
戻る	一つ前の画面へ戻ります。
初期化	初期化を実行します。

DUAL MAP(2画面)

2画面機能(TV(ワンセグ)/Movie)

本機では、地図画面とAVソース画面を2画面分割表示できる「DUAL MAP」機能を搭載しています。

Dual Map設定方法

地図画面に表示されている[DUAL MAP]ボタンをタッチします。



DUAL MAP解除方法

DUAL MAP画面中に、以下のボタンをタッチすることでDUAL MAPが解除されます。

- ①の映像画面をタッチ：AVソース映像画面(全画面)に切り替わります
- ②の地図画面をタッチ：地図画面(全画面)に切り替わります

注意

- 自車位置が現在地にある場合のみ[DUAL MAP]ボタンが表示されます。
- 地図画面をスクロールしている場合は、[現在地]ボタンをタッチして現在地画面に戻してください。
- DUAL MAP対応ソース (TV (ワンセグ)、Movieソース) 中以外は地図画面の[DUAL MAP]ボタンは表示されません。
- DUAL MAP画面 (左右) 位置は固定となり、入れ替えることはできません。
- DUAL MAPにした場合、AVソースの映像画面サイズが自動的に比率に切り替わるため、小さく表示されます。また、画面比率は実際の画面表示と異なる場合があります。
- DUAL MAPへ切り替えるまたはDUAL MAP画面から全画面に切り替える際、一時的に音声途切れる場合がありますが、故障ではありません。

別売品について

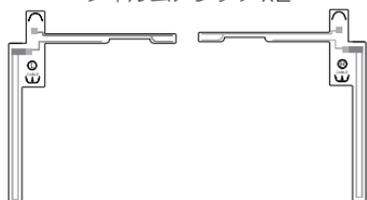
テレビ用フィルムアンテナ

TV(ワンセグ)の受信感度が悪い場合は、以下のテレビ用フィルムアンテナをお求めください。

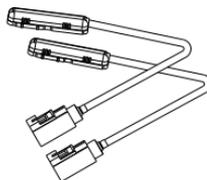
製品型番:FA-01

別売品のフィルムアンテナは、L用とR用のセットとなります。
本製品はL用もしくはR用どちらか一方を使用しますので、ご注意ください。
お車に合わせて、L用もしくはR用のアンテナをご使用ください。

フィルムアンテナx2



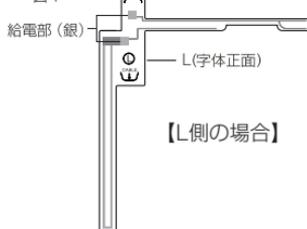
アンテナケーブル (アンプ付き)x2



テレビ用フィルムアンテナの構造

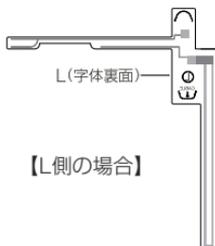
車側：「L」と「R」の文字が通常に確認できる面が車の内側になります。

図1



フロントガラス側：「L」と「R」の文字が反対になる面がフロントガラス側になります。

図2 車のガラス部分に貼り付けます。



別売品について

テレビ用フィルムアンテナの取り付け位置について

テレビ用フィルムアンテナを取り付ける場合は、本体お買い上げ販売店や専門業社にご依頼ください。

△注意

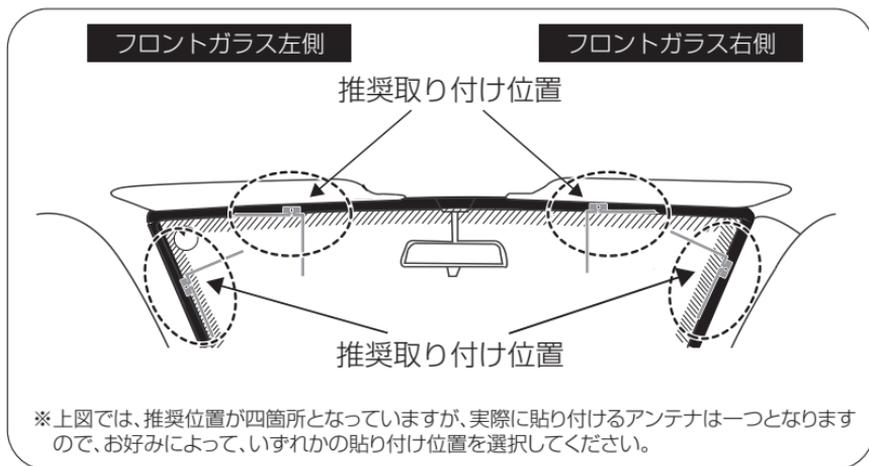
- 保安基準に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく貼り付けてください。
※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条及び細目を定める告示第195条をいいます
※最新の保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください
- フィルムアンテナは、車室内取り付け専用となります。
- フィルムアンテナは、フロントウィンドウ貼り付け専用となります。フロントウィンドウ以外には貼り付けしないでください。
- 熱線やプリントアンテナ上には貼り付けしないでください。ショートや発熱、性能劣化の原因となります。
- フィルムアンテナの取り付け前に車内の内張りを取り外す必要がある場合がありますが、ピラーを外す際、ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両の場合は、絶対にピラーを外さないでください。
フロントエアバッグの誤動作などの原因となり、大変危険です。ピラーを取り外せずにフィルムアンテナを取り付ける方法について、詳しくはお買い上げ販売店にご相談ください。
- 必ず、フロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。
- 車室内に取り付けるアンテナは、エアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 車種によっては、取り付けができない場合があります。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど、電波を通さないガラスを使用した車種の場合、テレビ受信感度が極端に低下します。
- 必ず、車内の取り付け場所に、市販のテープなどで仮留めをして、エレメントやアンプが貼り付けられることを確認してください。
- フィルムアンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。
- フィルムアンテナは車載機器（※1）および各アンテナ類（※2）から50cm以上離して設置してください。車載機器や各アンテナ類の近くに取り付けると、DTVが正常に機能せず、電波を受信しにくくなり、誤動作を起こす可能性があります。
※1 ETC車載器、ビーコンユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機、ドライブレコーダーなど
※2 ETCアンテナなど
- フィルムアンテナのフィルムやアンプの裏シートを剥がした後は、給電端子などに手を触れないでください。静電気による故障や汗や汚れなどの接触不良の原因となります。
- 他のアンテナから十分離してください。受信感度やノイズの原因となります。
- 他のフィルムアンテナとの干渉を考慮して貼り付け位置を決めてください。
- 一度貼り付けると、粘着力が弱くなるため貼り直しはできません。
- 必ず、アンテナケーブルおよびフィルムアンテナを仮留めし、アンテナケーブルの引き直しなどを十分に検討してから貼り付けてください。
- ガラス面が結露したり気温が低いときは貼りつかなくなります。湿度が高いときはエアコンをオンにして十分に乾かすか、気温が低いときは車内ヒーターやデフロスター、またはドライヤーなどで貼り付け部分を暖めて、結露しないことを確認してから貼り付けてください。
- フィルムアンテナ、アンプ、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性のもので拭かないでください。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、傷を付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。

別売品について

次のようなところでは映像が受信しにくいまたは受信できない場合があります

- ビルとビルの間を走行または停車している場合
- 上空を飛行機または電車が近くを通過している場合
- 送電線の付近を走行している場合
- テレビ局の電波塔から遠いところを走行している場合
- 山かげや木立の陰に入って走行している場合
- トンネル内や鉄橋を走行している場合
- 地下や高架下等を走行または停車している場合
- ラジオ、アマチュア無線/業務用無線の送信アンテナの近くを走行、または自ら発信しているとき
- 車両搭載機器（※）が作動している場合、ノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。
※電動ドアミラー/パワーウィンドウ/エアコン/HIDランプ/電動カーテン/電動サンルーフ/ドライブレコーダー/レーダー探知機/車載用モニターなど

貼り付け位置について(推奨)



メモ

- ・アンテナは点検シール、検査標章などに重ねないでください。
- ・受信感度低下を防ぐために、他のアンテナやETC受光部から離して貼り付けてください。
- ・アンテナの給電部及びアンプ部は、セラミックラインまたは内張りに重ならないように、必ず貼付許容範囲内に貼り付けてください。

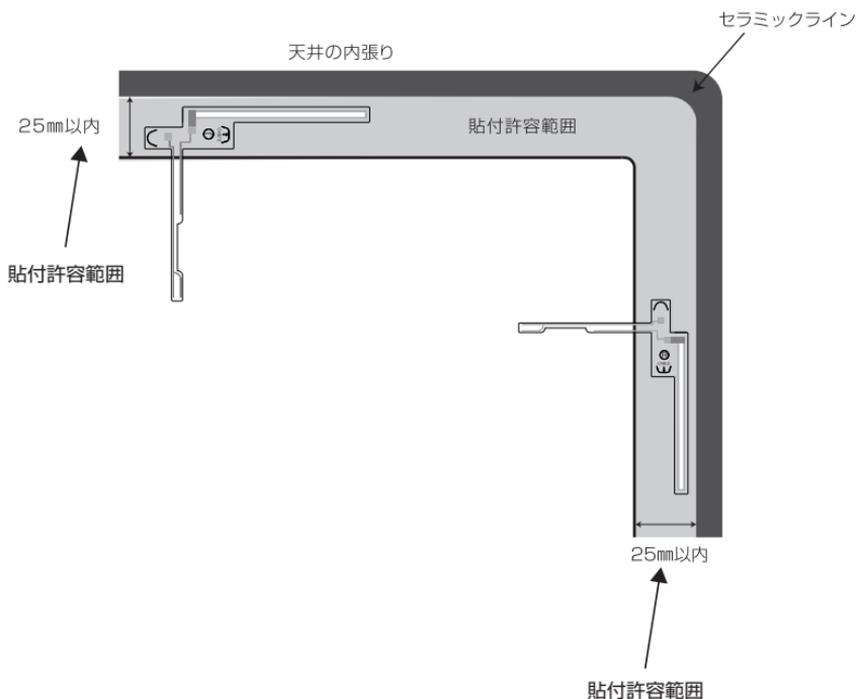
別売品について

貼付許容範囲について

フィルムアンテナの給電部およびアンブ部は、必ず貼付許容範囲内に貼り付けてください。

貼付許容範囲:セラミックラインよりも内側に25mm以内の範囲

※セラミックライン:フロントウィンドウの端の黒い部分及び黒い点々部分



⚠ 注意

- ・ 運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず「アンブ貼付許容範囲」および「エレメント貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。許容範囲外に貼り付けると、道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。
- ・ 正しく取り付けを行わないと、ワンセグの受信に影響が出ます。

別売品について

テレビ用フィルムアンテナの取り付け位置について

手順1)

フィルムに仮位置を決めます。

手順2)

車内の内張などを取り外します。

手順3)

ケーブルを引回す仮位置を決めます。

手順4)

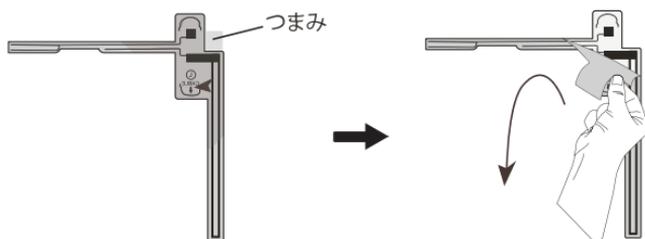
フロントウィンドウの内側の汚れや油などを取り除きます。

手順5)

フィルムアンテナを貼り付ける場所を十分に乾燥させます。

手順6)

フィルムアンテナ背面テープ余白部分(つまみ)を持って、セパレーターを剥がし、あらかじめ決めた位置に貼り付けてください。 ※フィルムの貼り直しはできませんのでご注意ください

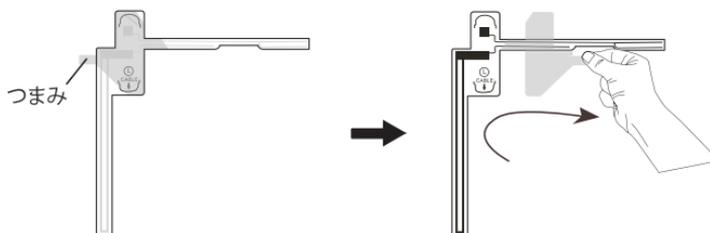


手順7)

フィルムアンテナ全体をなぞるようにして、ガラス面に密着させてください。

手順8)

フィルムアンテナ正面のラベルを持って、セパレーターを剥がしてください。



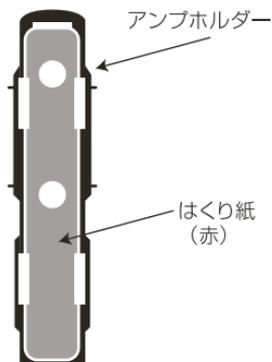
別売品について

手順9)

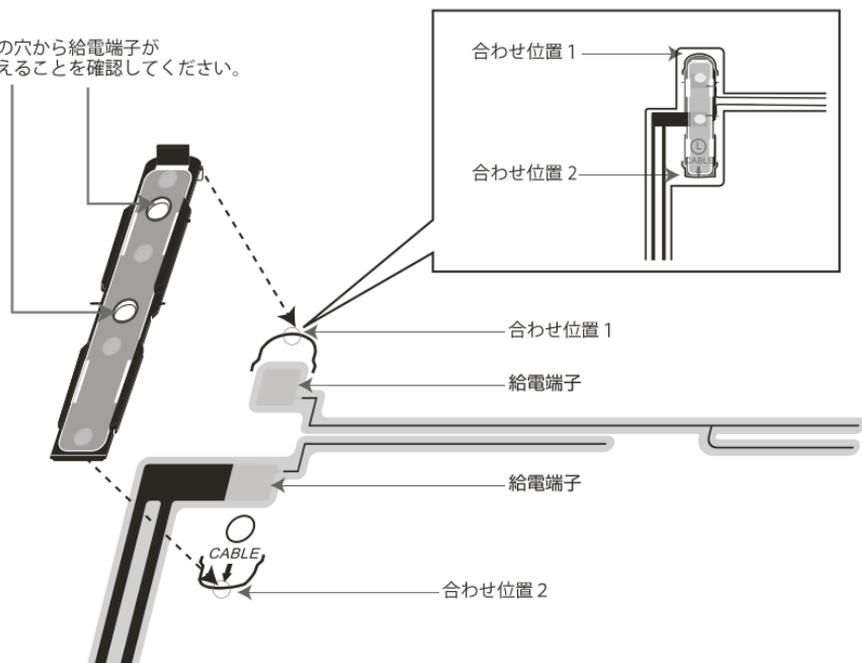
アンプホルダーの裏面のはくり紙を剥がします。

手順10)

給電端子部にアンプホルダーを貼り付けてください。
アンプホルダーの「突起部1」、「突起部2」と
エレメントの「合わせ位置1」、「合わせ位置2」が
合うように取り付けます。



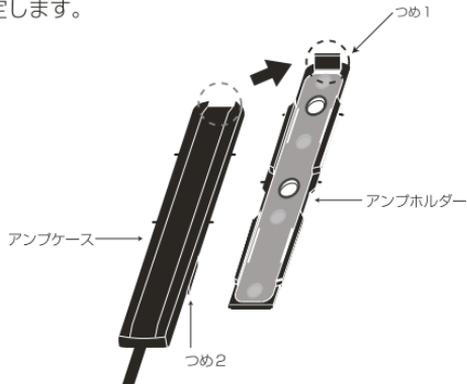
この穴から給電端子が
見えることを確認してください。



別売品について

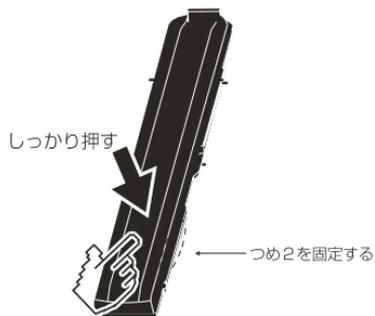
手順11)

アンプホルダーのつめ1にアンプケースの先端をひっかけて、それを支点にしてつめ2を固定します。



手順12)

「カチッ」と音が出るまでアンプケースを押して、つめ2をしっかり固定する。



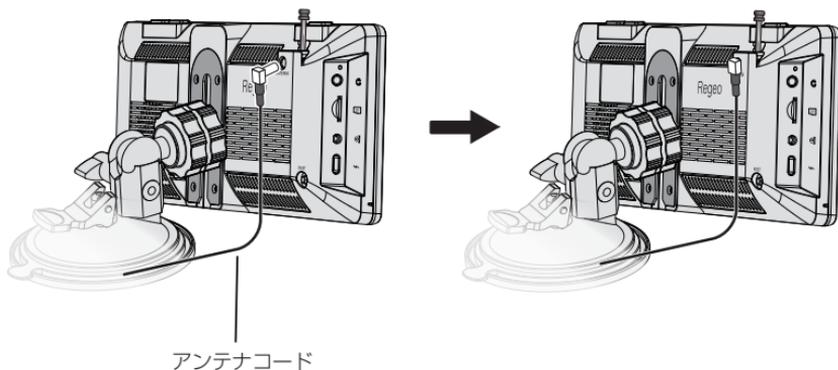
付属のアンテナ固定用テープで、ケーブルを固定してください。

※アンテナ線は引っ張らないでください。アンプホルダーに負荷がかかり、外れる原因となることがあります。

別売品について

手順13)

アンテナコードを本機のテレビ用フィルムアンテナ接続端子へ接続します。



⚠ 注意

- ピラーにエアバッグが装着されている車両では、エアバッグの妨げにならないように配線してください。
- 車両のペダル付近や運転の妨げになる場所には配線をしないでください。
- 配線する際は、他のケーブルからできるだけ離してください。他のケーブルからのノイズ干渉により、受信感度が低下する可能性があります。
- フィルムアンテナの貼り直しは粘着力が弱くなるほか、アンテナ自体が破損する恐れがありますので、おやめください。
- アンテナ線は引っ張らないでください。アンプホルダーに負荷がかかり外れる原因となることがあります。
- フィルムアンテナの貼り付け作業する場合、電源が ON になっている本体に接続した状態では作業をしないで下さい。通電状態でフィルムアンテナの貼り付け作業を行うと、電気的ショートが発生し、アンテナが故障します。作業する場合は、接続コネクタが本体と接続されていない状態であることを確認してください。

別売品について

バックカメラ接続ケーブル(専用変換コネクタ)

本機に接続したバックカメラ映像を表示するための専用ケーブル(コネクタ)となります。

⚠注意

- 本製品にはバックカメラは付属されていません。
- 別売品のバックカメラを本機と接続する際は、バックカメラ本体の他、以下の「バックカメラ接続ケーブル(専用変換コネクタ)」が必要となります。

| 製品型番:BC-01

リバースセンス

接続先: リバース信号線に接続します

映像入力接続口 (RCA)

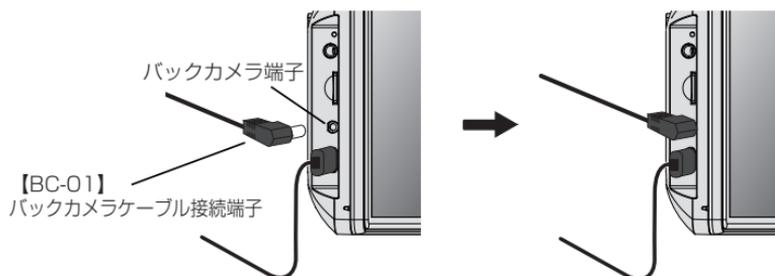
接続先: バックカメラの映像出力端子に接続します

バックカメラケーブル接続端子

接続先: 本機のバックカメラ端子(φ2.5)へ接続します

バックカメラ接続ケーブル取り付けについて

本機のバックカメラ端子へ接続します。



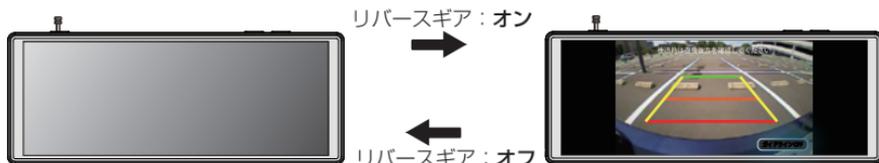
別売品について

バックカメラ映像画面表示方法について

車のリバースギアをオンにすると、自動的にバックカメラ映像画面が表示されます。リバースギアをオフにすると、元の画面に切り替わります。

例：TV（ワンセグ）画面

バックカメラ映像画面



バックカメラ映像表示について



ガイドラインON/OFF

ボタン	機能説明
ガイドラインOFF	ガイドラインを非表示にします。
ガイドラインON	ガイドラインを表示します。

⚠ 注意

- バックカメラを使用する際は、画面だけを見ながら後退するのは絶対にしないでください。必ず、目視で後退するようにしてください。
- バックカメラは後方視界を補助するものであり、全ての危険や障害物を映し出したり、検知するものではありません。
- バックカメラ自体の仕様については、販売メーカーへお問い合わせください。

トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認して下さい。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

一般・AVソース

症状	原因	こうしてください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●シガー電源アダプターは正しく接続されていますか？ ●ヒューズは切れていませんか？ ●本体の電源はオンになっていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●配線を見直してください ●ヒューズを交換してください ●本体の電源をオンにしてください
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●音量（ボリューム）が0になっていませんか？またはMUTEになっていませんか？ ●イヤフォンが接続されていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●音量をあげてください。またはMUTEを解除してください ●イヤフォンを取り外してください
誤動作する タッチキーが効かない	-	<ul style="list-style-type: none"> ●本体のリセットボタンを押して、再起動してください
ファイルが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機で再生できるフォーマットですか？ ●ファイルに拡張子がついていますか？ ●ファイルサイズは正しいですか？ ●microSDカードは正しく挿入されていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●再生できるフォーマットであるかを確認してください ●ファイルの拡張子が正しいか確認してください ●ファイルのサイズを確認してください ●microSDカードが正しく挿入されているか確認してください
TV（ワンセグ）が受信できない	<ul style="list-style-type: none"> ●ロッドアンテナは格納されていませんか？ ●スキャンを行いましたか？ ●受信が安定しているエリア/場所ですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●ロッドアンテナを伸ばしてください ●スキャンを実行してください ●受信可能なエリア/場所に移動してください ●上記を試しても受信ができないまたは不安定な場合は、別売品のテレビ用フィルムアンテナ（FA-01）をお買い求めください
バックカメラ映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●バックカメラを接続していますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●別売品のバックカメラの接続を見直してください ●別売品のバックカメラ接続ケーブル（BC-01）を使用してください

ナビゲーション

別冊のナビゲーション取扱説明書をご参照ください。

本機で使用できるメディアについて

本機では、microSDカードにファイルを格納して、下記の音楽ファイルおよび映像ファイルを再生できます。

対応メディアについて

対応SD	microSD/SDHC (128MB~2GB/4GB~32GB)
ファイルシステム	FAT16/FAT32
スピードクラス	Class 10まで

再生できるファイルフォーマットについて

MUSIC (音楽)	対応形式	MPEG-1 Audio Layer 3
	拡張子	.mp3
	量子化ビット数	16bit
	ビットレート	48k~320kbps,VBR
	サンプリングレート	32k~48kHz
	タグ	ID3タグ (Ver 1.0/1.1/2.2/2.3)
	チャンネル	Mono, Stereo
VIDEO (動画)	対応形式	ISO MPEG4
	拡張子	.mp4
	プロファイル	Simple Profile Level3
	対応音声コーデック	MP3, AAC
	最大フレームレート	30fps
	最大ビットレート	4.0Mbps
	最大ファイルサイズ	4GB

⚠ 注意

- DRM (デジタル著作権管理) 付きのファイルは再生できません。
- 一つのMP3ファイルの中に異なるバージョンのID3タグ情報が同時に存在する場合、Ver2を優先します。
- リスト表示は、フォルダ名は半角15文字(全角9文字)、ファイル名は半角20文字(全角12文字)を表示します。表示しきれない場合は、スクロールして表示されます。
- 基本画面のタグ表示は、タグ表示は半角25文字(全角15文字)を表示します。表示しきれない場合は、スクロールして表示されます。
- ファイルの作成方法によって、再生・表示ができない場合があります。
- ビットレートが高い場合、部分的に音飛びや音切れする場合があります。
- 表示できる文字は、半角英数文字、半角カナ、全角文字となります。
- シフトJIS以外の文字は表示できない場合があります。
- 最大ファイル、ファイル数は500までとなります(フォルダまたはファイルのうち一方が上限に達した場合、認識できません)。

本機で使用できるメディアについて

⚠ 注意

- ノイズや故障の原因となるため、フォーマットの異なるファイルに上記の拡張子を付与しないでください。
- 音声および映像コーデックの組み合わせによって正しく再生できない場合があります。
- サンプリングレートやビットレート、量子化ビット数等により、拡張子が正しくても、全てのファイルが再生できるものではありません。
- プロファイルや対応解像度、フレームレート、ビットレート等により、拡張子が正しくても、全てのファイルが再生できるものではありません。
- ファイルにタグ情報が書き込まれている場合であっても「Unknown」表示または空欄の場合があります。
- ファイルのエンコードおよびライティングソフトにより、正しく再生および情報表示できない場合があります。
- 書き込んだ文字コード情報によって、表示内容が正しく表示されない場合があります。
- フォルダやファイルの表示順序は、エンコードしたパソコンやアプリケーションにより、期待したものとは異なる場合があります。
- ファイルのデータサイズにより、再生時の動作が遅延する場合があります（最大 4GB まで）。
- 再生できないファイルの場合、ファイルスキップを行う場合があります。
- microSD カードは全てのメーカーを保証しているわけではないため、認識しない場合があります。その場合は、microSD カードを交換してください。
- microSD カードを本機に接続すると、microSD カード内に「LOST.DIR」というフォルダが自動的に生成されます。これは、システム上の働きであり、故障ではありません。「LOST.DIR」をそのまま残した状態でも使用することができます。
- 非対応の解像度やフレームレートでファイル再生させると、本機の再生動作が不安定となり、期待した動作にならない場合があります。
- 解像度やフレームレートが対応しているファイルであっても、ファイルサイズやエンコード内容によっては正しく再生されない場合があります。
- 長時間のファイルは正しく再生されない場合があります。
- 映像ファイルが正しく再生されない場合、解像度のサイズを下げる、フレームレートを下げる、コーデックの組み合わせを見直すことで解消される場合があります。
- microSD カード内のデータは必ずバックアップをとってください。データ消失その他の損害が生じた場合、一切その責任を負い兼ねます。

仕様

本体仕様について

ワンセグチューナー内蔵9.3インチポータブルナビゲーション

品番	PZ-1023
ディスプレイ	9.3インチ(TFTタッチパネル式LCD)※LEDバックライト(WVGA液晶)
microSD	対応(MUSIC/VIDEO)
使用電源	5V/2A (DC12V~24V入力対応)
動作温度範囲	-10℃~60℃
外部入力/出力	×
ヘッドフォン対応	○(φ3.5入力端子)
バックカメラ対応	○(φ2.5入力端子) ※別売品(BC-01)が必要
TV(ワンセグ)	ワンセグチューナー内蔵(1ロッドアンテナ内蔵)
対応音楽データ形式	MP3
対応ムービー形式	MP4
本体重量	約513g
寸法	約244(W)×96(H)×29(D)mm
付属品	シガー電源アダプター(ケーブル約1.5m)、吸盤スタンド、クッション材、吸盤プレート(3M製粘着シート付)、クリーニングクロス、ケーブルクランパー(3個)、脱落防止ストラップ、取扱説明書(本体&ナビ機能)、保証書

※紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にてご注文ください

※本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください

別売(オプション)品について

別売品をお求めの場合は、サービスセンターまでお問い合わせください。

別売品	製品型番
テレビ用フィルムアンテナ	FA-01
バックカメラ変換ケーブル	BC-01

Regeo

販売元：株式会社イノベティブ販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8

innovativesale.co.jp

お問い合わせはサービスセンターへ

▼電話でのお問い合わせ

048-970-5027 (通話料がかかります)

電話受付時間 平日 9:00～17:00

(土日祝祭日、弊社休業日は除く)

▼メールでのお問い合わせ

cs@innovativesale.co.jp